



# ヨット部

■ 1939年(昭和14年)公認

部員数

39名



部長  
青木 則幸  
法学学術院  
教授



監督  
関口 功志



主将  
河田 大智  
法学部  
逗子開成

2025年度のチームは、前年に達成されたインカレ5連覇の後を受けて、非常に大きなプレッシャーの中で、活動してきた1年だったのではないだろうか。

そのような中、本年度のインカレでは、総合優勝こそ惜しいところで逃したものの、スナイプ級で優勝、470級も準優勝という輝かしい成果を記録することになりました。優勝争いの重圧の中での、見ごたえのあるレースの展開は、高い技術と強靭な精神力を備えてこそその偉業だったといえるでしょう。この伝統が世代を超えて承継され、益々の飛躍を続けることを期待しています。

もとより、部の活動は多くの皆様のご支援に支えられております。皆様を重ねてお礼申し上げます。

2025年度の全日本学生ヨット選手権は総合準優勝に終わりました。2020年からの連覇は途絶えましたが、470級準優勝、スナイプ級優勝は胸を張れる成績です。最終日に艇体トラブルでリタイアし優勝を逃した背景には、勝ちの中で生まれた詰めの甘さの顕在化があったといえます。この敗戦を受け止め真摯に学ぶことで、より強いチームになれると信じています。4年生の献身と悔し涙に込められた、後輩たちの奮起を強く期待します。最後まで粘り強くチームを率いた卒業生には心から敬意を表します。判断の連続のヨット部での経験には、変化の激しい時代を乗り越えるヒントが眠っています。それぞれの個性を活かし、今後のご活躍を願っています。

今年度、第90回全日本インカレにて総合準優勝という結果を取れました。目標として掲げてきた総合優勝には一歩届かず、悔しさも残る大会となりました。しかし、部訓である「全進」のもと、誰一人欠けることなく全員の力で前に進み続けた一年でもありました。

その中で培われた、レギュラー・サポートの垣根を越え、チーム全員で勝利を掴みに行く姿勢は、この部が代々大切にしてきた文化であり、自信を持って誇れる強さです。

今年の挑戦、悔しさを引き継ぎ後輩たちが活躍してくれることを心から応援しています。

4年間、誠にありがとうございました。



主務  
藤村 勇斗  
社会科学部  
高松商

主務として、また選手として部活動に知り、部活動を運営するうえでどれほど多くの手取りや段取りがあるか、多くの関係者が支えてくださっていることを知り、当たり前を築く大変さを学びました。総合優勝という唯一の目標を達成できなかったことは、一生心残りになるとは思いますが、この経験を活かして後輩にしっかりとバトンを渡し、この辛さを後輩には経験させないよう、私たちは今後とも早稲田大学ヨット部を様々な形で支援していきたいと思っております。

最後になりますが、これまで支えていただいた同期、後輩、指導者の方々、OB・OGの皆さま、保護者の皆さま、大学関係者をはじめとする多くの方々に、心より深く感謝申し上げます。



## 本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

### ◇2025年度春季関東学生ヨット選手権大会決勝

(5月3日～5日)

470級 優勝  
SNIPE級 準優勝  
総合 優勝

- ▷安永・長屋・中川 1位
- ▷青山・松山 2位
- ▷岩永・植屋 10位
- ▷桔川・尾崎 20位
- ▷重松・孫 23位
- ▷藤村・トムソン 55位

### ◇第85回早慶ヨット定期戦 (6月7日～8日)

470級 優勝  
SNIPE級 優勝  
総合 優勝

- スナイプ級
- ▷向井・岩崎・吉見 2位
- ▷重松・轟山 5位
- ▷桔川・山本 8位
- ▷河田・中井・諸橋 10位

### ◇2025年度全日本学生ヨット個人選手権大会

(8月29日～31日)

470級

### ◇2025年度秋季関東学生ヨット選手権大会決勝

(10月11日～13日)

470級 準優勝  
SNIPE級 準優勝  
総合 準優勝

### ◇2025年度全日本学生ヨット選手権大会決勝

(10月31日～11月3日)

470級 準優勝  
SNIPE級 優勝  
総合 準優勝

